

学校名： 九重町立南山田小学校

授業者： 恒任 珠美

教材作成者： 恒任 珠美

授業日時	2013年10月11日5時間目	教科・科目	国語
学年・年次	5年	児童生徒数	9人
実施内容	大造じいさんとがん	本時/この内容を扱う全時数	5/6
教科書及び教科書会社	教育出版「ひろがる言葉」		

授業のねらい（本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか）

本単元では、狩りの対象であったがんの頭領「残雪」を「がんの英雄」に認めるに至った大造じいさんの変容（残雪に対する考え方・とらえ方）を読み取る学習をする。

この教材は、大造じいさんががんを捕らえようとする3つの作戦「うなぎつりばり作戦」「たにしばらまき作戦」「おとりがん作戦」が展開され、最後に「残雪を放す」場面が書かれている。場面ごとの大造じいさんの作戦や実行・それに対する残雪の行動・情景描写を、叙述に着目したり想像したりしながら、大造じいさんの残雪に対する思いや心情の変容、生き方や本当の勇氣について考えさせたい。

また、読み取ったことを音読や朗読として声に出して読んだり、椋鳩十の作品に関心を持ったりし、その人物像やメッセージを感じながら読むなど豊かな読書生活につなげたい。

メインの課題（授業の柱となる、シグソー活動で取り組む課題）

大造じいさんは、なぜ、残雪を放したのだろう。

児童生徒の既有知識・学習の予想（対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。）

わかりやすく場面分けされて展開している教材である。また、大造じいさんが残雪に戦いを挑む場面で、繰り返し情景がのべられていることから、情景描写からも人物の心情に迫る読み方を学ばせることができるのではないかと考える。また、第3場面での【視点の転換】は4年生の『ごんぎつね』で学習している内容でもあり、楽しみながら読み進めることができるのではないかと考えられるが、学級の中に、語彙が少なく読み取りに意欲的になれない児童がいる。「どうして?」「なぜ?」という自分の疑問をよく発信する児童でもある。その中には、自分の生活経験からの疑問も多い。本教材でも、「捕らえることが目的で何年もかけて作戦を実行してきたのに、なぜ逃がしてしまったのか?」という疑問を抱くであろう。エキスパート活動での読みやシグソー活動での交流や大造じいさんの残雪に対する心情の読みがポイントとなるであろう。

期待する解答の要素（本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）

①大造じいさんの心情 ②残雪のとった行動 の2つの視点から、大造じいさんの人間性や生き方・考え方を含めた内容

（例）威厳のある残雪の姿に強く心を打たれ、英雄である残雪と正々堂々と戦いたいと思ったから。

（例）残雪をただの鳥ではなく、自分と対等な生き物だと考えているから。

各エキスパート＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください＞
<p>A 大造じいさんの心情と作戦（赤）</p> <p>B 残雪のとした行動（青）</p> <p>C 情景描写（緑）</p> <p>●「うなぎつりばり作戦」「たにしばらまき作戦」「おとりがん作戦」「残雪を放した大造じいさん」のそれぞれの場面で各エキスパートに関わる文章事実を各自で見つける。</p> <p>●見つけたことをエキスパート活動で出し合う。</p> <p>●エキスパート活動で、その心情を話しあいワークシートに書く。</p> <p>●シグソー活動やクロストークで、文章事実を根拠に自分の言葉（話し言葉）で伝える。</p> <p>●クロストークを聞いて、自分の考えを書かせる。</p> <p>●大造じいさんの心情を円グラフで考える。</p>
シグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容
<p>読み取ったことを音読や朗読で声に出して表現する。</p> <p>椋鳩十の他の作品に関心を持ち、そのメッセージや感じ方を想像しながら読書生活を豊かにする。</p>

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	<p>○感想・学習計画</p> <p>①「うなぎつりばり作戦」</p> <p>②「たにしばらまき作戦」</p> <p>③「おとりがん作戦」</p>	今年こそはと、様々な作戦でがんを捕らえようとする大造じいさんの行動と心情やそれに対して残雪がとった行動、情景描写からわかる心情
本時	④「残雪を放した大造じいさん」 『大造じいさんは、なぜ、残雪を放したのだろう。』	<p>・晴れ晴れとした気持ちで残雪をいつまでも見守る大造じいさんと一直線に飛び去る残雪</p> <p>・狩りの対象であったがんの頭領「残雪」を「がんの英雄」に認めるに至った大造じいさんの変容</p>
次時	音読や朗読で表現しよう	作戦や心情などの臨場感が伝わるような音読表現
この後	椋鳩十の他の作品を読もう	椋鳩十の動物に対する愛情や畏敬の念 動物と人間の心の交流

上記の一連の学習で目指すゴール
<ul style="list-style-type: none"> ・大造じいさんの心情の変化と残雪への思い ・大造じいさんの生き様 ・人間と動物・生き物のかかわりをテーマにした文学教材を読む楽しさを感じる。

本時の学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
<p>(事前)</p> <p>5分</p> <p>15分</p> <p>10分</p> <p>10分</p> <p>5分</p>	<p>3段落までの大造じいさんの作戦と心情・残雪のとった行動・情景描写から、大造じいさんの変容を読み取っている。</p> <p><導入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3段落までについて、簡単に振り返りをする。 ・本時の課題を確認する。 ・各自音読をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大造じいさんは、なぜ、残雪を放したのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動の流れを説明する。 <p><エキスパート活動></p> <p>A 大造じいさんの言動 B 残雪の行動 C 情景描写</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書いて出し合う。 <p><ジグソー活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分たちの考えを出し合い、まとめる。 <p><クロストーク></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめた考えを発表しあい聞きあう。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大造じいさんは、なぜ、残雪を放したのか」クロストークを経て、自分の考えを書く。 	<p>学習計画や前時までの読み取りの足跡がわかるように掲示し、振り返りの手立てとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、大造じいさんの心情の変化について振り返りをする。 ・課題を提示する。 ・これまでの授業の流れと同じであることを確認する。 ・4段落物語の文章事実から考えることを伝える。 ・まず、教科書に線を引かせる。 ・「大造じいさん」⇒赤 「残雪」⇒青 「情景描写」⇒緑 ・その中から、大造じいさんの心情がよりわかるところを色分けしたワークシートに書き、読み取った心情を書かせる。 ・各自書いた後に、エキスパートで出し合い、話し合いをさせる。 ・ジグソーの中で、自分の考えを伝え合う、出し合った考えをもとに、課題に対する自分たちの考えを整理し、まとめさせる。 ・自分たちの考えを、文章事実をもとに発表させる。 ・深まりが見られないときは、着目しきれていない言葉に目を向けさせ、再度考えさせる。 ・自分の言葉でワークシートに書く。 ・学習計画に自己評価と感想を書く。

グループの人数や組み方

3人グループ。

①段落は、授業者で分けるが、②③④段落は、児童の希望も聞きながらどの児童もABCのエキスパートを経験するようにする。ジグソー活動では、児童の読みの実態を考慮して3人グループを作る。